

## 令和5年度 第3回鍋小学校 学校運営協議会記録

○ 日 時 令和5年10月25日（水） 午後3時～4時30分

○ 場 所 校長室

参加者 役職名 氏名

鍋小学校学校運営協議会 会長 橋本 直

鍋小学校地域学校協働活動推進員、鍋支館長 前田敦子

鍋小学校PTA会長 西山和彦、PTA生活委員長 鶴岡麻須未

鍋小学校区長会長 杉本敏男、鍋保育所園長 栗野信子

校長 猿渡博実、教頭 志賀 寛

### 1 開会

### 2 校長あいさつ

○ 今年の夏は暑く、夏休み明けも熱中症等に気を配りながらの教育活動を進めてきましたが、無事に乗り越えることができました。

○ 10/12（火）には陸上記録会が4年ぶりに開催されましたが、各種目で子どもたちの頑張りが見られました。協議の時だけでなくテントからの応援の態度も立派でした。

○ 先週初めからインフルエンザが増え始め、6年生の修学旅行には4名の児童が参加できませんでした。修学旅行後学年閉鎖となったため、10月22日（日）の地引網体験には6年生は参加できませんでした。地引網に向けて下級生に地引網に関するクイズを作って出題したり、ポスターを作成したりして頑張ってきた6年生が参加できなかったのは残念であり、申し訳なかったです。

しかし、5年生が6年生に代わって頑張りリーダーシップを発揮してくれました。約20年ぶりの開催で、子どもたちの喜ぶ顔がたくさん見られました。子どもたち同士、子どもたちと保護者、保護者同士の協力する姿や触れ合いの姿も見られました。開催に当たって磯鍋の植田区長さんをはじめとする地引網保存会、地域の方々、支館の協力で実現できました。皆様に感謝です。

○ 9月には3年生が漁業組合の協力を得てマジック釣りを行うことができました。

前田支館長をはじめとする地域学校協働活動に支えられ貴重な体験や学習を行うことができました。後期も多くの学びの場が控えていますので引き続きよろしく申し上げます。

### 3 前期後半から後期の学校の取組について（教頭先生）

#### （1）学びづくり

① 学んだことを確実に身に着けることができるようにする。

○ 授業改善：玉名市作成のタブレットを使った「eライブラリー」を活用して授業の充実・改善に努める。学年閉鎖中の6年生はタブレットを持ち帰り、学校から課題を送って自宅で学習をしている。タブレットは全児童が火曜日は持ち帰ってタブレットを使って学習する。

○ 家庭学習強化週間：他の手本となるような自主学習ノートを紹介しながら自主学習の充実を図る。家庭でもチェックシートに学習時間やSNSやゲームの時間等設定していただいて学校、家庭の連携の中で子どもたちの学習の充実を図っていく。

② 読書活動の推進を図る。

○ 9月から月曜日は学校の本を借りて持ち帰って本を読むように取り組んでいる。家庭でも本

を読む姿が増えることを期待している。現時点でも図書室での本の貸し出し数は昨年度よりも増えており、目標冊数を達成する子どもが増えている。

#### (2) 心づくり：あいさつ

○ 学校外でも挨拶ができるようにしたい。そのため、9月からは挨拶運動に登校班も参加している。また、登校班長が下級生のあいさつ、地域の方々へのあいさつをチェックし、昼の放送であいさつの状況を報告している。地域でのあいさつの様子を後で聞かせて欲しい。

※（地域から）＊最近はあいさつが少しずつ良くなってきている。

＊自分の地域では自分からあいさつする姿を見る。

＊班によって差が見られる。

＊今だけでなく、長い目で見守っていきたい。

（学校から）＊生活目標に位置付けて意識を高めていく。また、PTA とも連携して子どもたちのあいさつの向上を図っていきたい。

#### (3) 健康づくり：「柔軟性」

○ スポーツテストの結果では「柔軟性」に課題があったので、体育の授業で柔軟運動を取り入れている。昨年度は「走る」が課題であったが、授業でダッシュを取り入れて今年のスポーツテストでは向上していた。

○ 持久走大会に向けて、火・水・木は業間にランニングを取り入れていく。

※（保育園から）＊鍋保育所では、毎週火曜日に体育の講師を招聘して、鉄棒や跳び箱、器械運動など基礎的な指導をしていただき、運動会では見事な組体操を披露できた。運動能力の向上だけでなく、けがも減ってきた。

#### (4) 地域との連携

○ マジャク釣り（9月）、地引網体験、クリーン登校（10月）・・・実施済

○ 4年：県ハートフルサポーター育成（高齢者介護体験）（10月）

○ 鍋保育園児と1・2年生の交流活動（11月）

○ 4年：老人福祉施設「幸」訪問

コロナ禍で実施できなかった活動が次々に復活している。

### 4 協議（進行：橋本）

#### (1) 地引網体験

○ 約20年ぶりの開催で、子どもと保護者が一緒に汗を流す貴重な経験ができた。鍋の海のよさを生かした伝統的な地域産業を経験できたことは有意義であった。その過程で多くの方々のお世話になり学校と地域の連携が深まった。

○ 学校と地域の協働で、マスコミ（ひまわりテレビ、熊日等）、市当局の関心を得ながら実施できた。

○ 子どもたちにとっては初めての経験で、事前に地引網のDVDも用意していただいて見せてもらっていたのが良かった。

○ PTAは駐車場のお世話をしたが、スムーズだった。地引網は保護者の間でも高評価だった。継続していくなら予算の問題をクリアしていく必要がある。（校長先生：民間財団等いろいろな機関からの助成金の交付について調べたり、申請したりしていく予定。）

○ 区長としても今後続けていくのなら協力していきたい。キャンプに来ている方々とのトラブル

がないかは心配した。駐車場から地引網の場所まで少し距離があった。

- 保存会の方々の話では、マジック釣りは9月に行われたが、時期は5月が良いという話だった。
- 子どもたちは鍋校区に住んでいながら、鍋の海岸に行くことは少なかったのではないか。当日は天気も良く、以前より海岸が整備してあり海と雲仙普賢岳と砂浜がとてもきれいだった。その中で地引網で、子どもたちもこないいいところが校区にあると改めて気づくことができたのではないか。その中で地引網体験は、この協議会で目指している「子どもたちの地域への愛着を深める」ことにつながると思う。
- 約1時間網を引き続けるのは体にきつい作業だったかもしれないが、一人も「もうやめたい」などの不平を言う子もいなかった。どの子も最後まで頑張った。きついことでもみんなで一つのことをやっている時間は何かみんなとの一体感を感じた。これは校長先生が目指しておられることの一つ「共感力」の育成につながる経験だと思う。
- 今回の取組はマスコミでも取り上げられ、松原海岸の明るいイメージづくりにつながったと思う。

## (2) クリーン登校

- 前回より協力者は少なかったが、民生委員さんが立っておられ、子どもたちのごみ拾いをしながらの登校を見守っていただいた。
- 自分の子は朝から「クリーン登校」だと言って登校した。浸透している。
- 子どもからのチラシは有効である。
- 子どもと一緒にゴミを拾いながら歩き、子どもたちの話を聞くことができた。コミュニケーションの機会として楽しい時間だった。
- 区のいろいろな集まりの機会に紹介したり、掲示板に貼ったりしてできるだけ多くの方々に伝えていきたい。

## (3) 8月の親子美化作業

- 今回も地域から多くの協力があった。学校としてはとても助かった。
- 立山、本村は通学路が長く草刈りがとても大変。通学路の草刈りボランティアを募ることも考えたい。
- 草刈りをした後の刈り取った草の処理に困っている。→教育総務課にボランティアごみとしての回収を相談する。

## (4) どんどや

- 実施は、令和6年1月14日（日）午後から
- 藁をいただいて倉庫に保管している。
- 竹を切り出すために、地主さんにあいさつしておく。
- 支館事務局長の西さんから歴代のPTA会長に協力依頼の声掛けをしていただく。また、上鍋区の濱邊区長さんにも協力をお願いする。
- 支館からもチラシを配って配布する。
- 運動場の借用を止めておく必要もある。

## (5) その他

- 地域学校協働活動に協力いただける組織や団体について情報を集める。明神尾の「明誠会」、上鍋の「とことん会」等には協力を打診する。

- 10月12日(木)に開催された陸上競技記録会では、鍋小子どもたちがどこにいるのかわかりづらかった。目立つゼッケンや鉢巻の購入ができるのであれば、支館で助成することもできる。
- 今世間では、性加害の問題が話題になっている。教育現場ではどんな教育が行われているか。  
※(学校から)1年生から6年生まで段階的計画的に性教育を行っている。3年生からは保健の指導で養護教諭も加わって指導を行っている。例えば、プライベートゾーンは他の人に見せたり触れさせたりしないことは低学年から指導している。併せて、LGBTについても多様性を認める教育の一環として発達段階に合わせてながら指導を行っている。  
また、職員にも不祥事防止の研修を通して指導を行っている。教育への信頼を裏切ることは絶対にあってはならないことを確認している。

## 5 その他

今回は、令和6年3月7日(木) 15:00~

- 学校評価
- クリーン登校の反省
- どんどやの反省
- 次年度への志向、その他

## 6 閉会